

# Honda の社会活動

## 2008



Together for Tomorrow



# CONTENTS



## 01 CONTENTS

02 ごあいさつ

03 夢のある明日の社会づくりをめざして

05 世界の各地で、人々の喜びにつながる活動をすすめています

## 07 子ども達の育成支援活動

08 NYPUM

09 環境わごん

11 ツインリンクもてぎの学習施設

12 Honda「発見・体験学習」

13 子どもアイデアコンテスト

14 学生フォーミュラ支援/ドリームハンズ/学校環境奨励賞/イーグル・ロック・スクール

15 東京箱根間往復大学駅伝競走/全国高等専門学校ロボットコンテスト

16 大分国際車いすマラソン大会/DREAM CUP ソーラーカーレース鈴鹿/

全国中学生創造ものづくり教育フェア/Hondaエコノパワー燃費競技全国大会/  
熱気球ホンダグランプリ

## 17 地球環境を守る活動

18 ビッグ・ダービー・クリーク保全活動

19 Hondaビーチクリーン活動

21 国内「水源の森」保全活動

22 「ふるさとの森」づくり

23 中国砂漠植林「喜びの森」計画

24 スプリングクリーク保全活動/Hondaツリーファンド

## 25 交通安全の教育・普及活動

26 交通安全キャラバン

27 (財)国際交通安全学会(IATSS)/安全運転普及活動

28 ファーマー安全運転コンテスト

## 29 地域に根ざした活動

30 タッチ・ザ・ワールド&大使館訪問

31 障がいのある人の雇用を促進する特例子会社

33 国内Hondaグループの社会活動

事業所の活動

38 グループ会社の活動

39 販売会社の活動

41 海外Hondaグループの社会活動

51 Hondaの寄付・支援活動/本田技研労働組合(本田労組)の活動

52 財団の活動

## 53 グループ全体の活動一覧

二輪販売会社/四輪販売会社/グループ会社/海外グループ会社

ごあいさつ

「こんなものがあれば、誰もがもっと楽しくなるだろう。  
もっとワクワク、ドキドキできるに違いない」  
—— そんな、一人ひとりが抱いている夢を、ともに  
追いつけていく。そして夢を描き、カタチにしよう  
とする時、そこには大きな力が生まれます。私たち  
Hondaは、夢を原動力に、製品づくりや企業活動の  
分野でも、新しい感動と喜びを世界中の人々とともに  
分かちあっています。

本レポートは、私たちが世界の各地で展開している  
さまざまな活動を、そこに関わる人々の想いや喜びに  
焦点をあてながらご報告しています。ぜひご一読いた  
だき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

Hondaは、これからも社会の一員として、世界の  
各地域に深く根づいて人々と喜びを共有し、喜びを  
次世代につなげていくために、世界の各地でHonda  
ならではの活動を展開していきたいと考えています。  
夢のある明日の社会づくりをめざして。

取締役社長 福井 威夫

# 夢のある明日の社会づくりをめざして

## Hondaは社会活動を通して 人々と喜びを分かちあってきました

Hondaは創業以来、商品や技術を通じて、社会やお客様に喜びを提供してきました。また、「企業は地域に根つき、地域と融合した存在でなければならない」という考えのもと、1960年代から地域とのつながりを大切にした社会活動を開始しました。事業領域が広がり、グローバル化が進んだ1970年代には、さまざまな分野の研究や教育、文化交流などを支援する財団や基金を設立。1980年代は国内だけでなく海外にも財団・基金を設立しました。創立50周年を迎えた1998年には、地球的視野で社会の期待に応えるために、専門部署である社会活動推進室を設置し、社会活動理念を制定しました。さらに2006年には、より積極的に人々の喜びにつながる活動をすすめていくため、グローバルな社会活動の活動方針とシンボルマークを制定。これからもHondaグループ全体で、人々と喜びを分かちあう活動をすすめていきます。

## Honda 社会活動の歩み

### 1948年(創業)～

商品・技術で、社会に貢献

### 1960年代～

地域との共生をめざした活動を展開

○工場見学受入れ、体育館・グラウンドなどの施設開放、スポーツ教室開催、  
地域住民招待の夏祭りなど開始 ○鈴鹿サーキット完成 ○NYPUM設立(米)

### 1970年代～

財団・基金を設立して、社会に貢献  
環境保全活動を開始

○ふるさとの森づくりや地域の河川・道路などの清掃活動開始 ○安全運転普及本部発足  
○(財)国際交通安全学会設立 ○(財)本田財団設立

### 1980年代～

海外にも、財団・基金を設立

○ベルギーホンダ基金設立(ベルギー) ○ホンダ太陽(株)設立  
○ホンダオプアメリカマニュファクチュアリング財団設立(米)  
○アメリカンホンダ財団設立(米)

### 1990年代～

専任組織を設置し、社会活動理念を制定(1998年)

○イーグル・ロック・スクール設立(米) ○ボランティア休暇・離職制度制定  
○社会活動推進室設置 ○学生フォーミュラ支援開始 ○国内森林保全活動開始  
○交通安全キャラバン開始 ○タッチ・ザ・ワールド開始 ○学校環境奨励賞開始(タイ)

### 2000年代～

グローバル活動方針(2006年制定)に基づいた  
社会活動を世界各地で展開

○社会活動連絡協議会発足 ○中国砂漠植林活動開始 ○環境わごん開始  
○子どもアイデアコンテスト開始 ○Honda「発見・体験学習」開始 ○ドリームハンズ開始  
○Hondaピーチクリーン活動開始 ○ザ・ドリーム・ファクトリー開始(英)

# Together for Tomorrow



Together for Tomorrow

このシンボルマークは、みんなで力を合わせ、夢のある明日の社会づくりをめざすというHondaの社会活動の考え方を表しています。子ども達の育成支援活動、地球環境を守る活動、交通安全の教育・普及活動、そして地域に根ざした活動を中心に、世界のHondaグループが夢のある明日の社会づくりに向けた活動を展開しています。

## Honda 社会活動の めざすもの

Hondaの企業理念である「人間尊重」と「三つの喜び」を基本に、企業市民としての活動を通じて世界中の人々と喜びを分かちあい、その存在を期待される企業になること

## 活動理念

- 地球的視野に立ち、「商品・技術」を通じて社会に貢献する
- 良き企業市民として地域に根付き、社会的責任を果たす
- 次世代のために、心豊かで活力のある人と社会づくりに努める

## 活動方針

Hondaは、夢のある明日の社会づくりをめざして、

- 未来を創る子どもの育成支援活動を行います
- 地球環境を守る活動を行います
- 交通安全の教育・普及活動を行います

## 世界の各地で、人々の喜びにつながる活動をすすめています



「需要のあるところで生産する」という考えのもと、  
Hondaは、現地オペレーションの自立化を積極的にすすめています。  
社会活動の領域においても、グローバルな活動方針のもと、  
その地域の実情にあわせた取り組みを積極的に展開。  
世界中のHondaが、その資源である  
「人」、「商品・技術」、「人間尊重の文化や風土」を活かして、  
それぞれの地域で暮らす人々の喜びにつながる活動をすすめています。

